

さあいよいよ国民平和大行進が、四国でも始まります。今年に行進は、今まで実感がなかった「核戦争阻止」の課題を、緊張感をもって取り組むことが求められる中で始まります。何の罪もないウクライナ国民への容赦ない攻撃は、人道上も決して許されるものではありません。

しかしロシアは、頑なに撤退を無視しウクライナを「第二のゲルニカ」の様に無差別爆撃を繰り返しています。日本のマスコミは「西側諸国」という表現であたかも「西と東」の対立と前世紀的発想で、この惨状を描いています。しかしこの戦争は「国連憲章」を守るのか、どうかの構図、戦争か平和かが問われています。紛争を話し合いで解決する、侵略はしないことが、国連憲章の第二条で明記されているからです。

さて、県内の平和行進の取り組みはすでに始まっています。4月22日には浜田恵造県知事から行進協賛金を頂きました。更に高城宗幸新県議会議長からも頂きました。今ウクライナへの「核攻撃」を許さないと、新婦人や医療生協では「原爆と人間」のミニパンフを普及しています。事務局長は一人で、31部普及しました。「広島・長崎」の再現を許さない世論を今度の平和行進で作り上げましょう。

山口逸郎さんが、昨日有原誠治さんと香川県に入りました。山口さんの念願「お遍路平和行進」に直結する四国八十八か寺の結願寺で、原爆の火がある大窪寺を訪問しました。そこで平和行進の「安全祈願」をしました。

【お二人の紹介】

- ★山口逸郎氏：全国通し行進者で今年90歳、四国行進で全国コース7コース8回目に挑戦しています。氏は映画製作者として30数本を製作、その内12本が原爆・被爆をテーマにしたものです。「一歩でも二歩でも」の製作者。
- ★有原誠治氏：子どもを対象にしたアニメ映画監督として、活動。「つるにのって」等製作多数。山口氏の「マイ行進たすき」も作りました。ぜひ行進に参加して、直に見てください。素敵な「たすき」です。



大窪寺「原爆の火」の前で、
有原氏（左） 山口氏（中
央）と岩部筆頭代表